

## 成年後見人材育成研修（委託研修）

# 聴講のご案内

一般社団法人愛知県社会福祉士会

愛知ぱあとなあセンター

愛知県社会福祉士会・愛知ぱあとなあセンターでは今年度、成年後見人材育成研修の開催を予定しております。

そこで、すでに養成研修や人材育成研修を受けられた方を対象に、再度、成年後見制度への理解を深めていただき、ぱあとなあ登録・受任の一助としていただきたく研修科目ごとの聴講制度を用意しました。

つきましては、下記の実施要領を参考にいただき、一人でも多くの方の聴講をお願いするとともに、ぱあとなあ登録・成年後見人受任にご協力いただきたくご案内申し上げます。

### 記

1. 実施時期 裏面；聴講科目一覧を参照願います。
2. 実施内容 裏面；聴講科目一覧を参照願います。
3. 実施場所 会場 名古屋市総合社会福祉会館（愛知県名古屋市北区清水4-17-1）  
オンライン Zoom（詳細は別紙）
4. 聴講対象 ぱあとなあ登録者および成年後見人材育成研修（成年後見人養成研修）修了者
5. 聴講会費 ぱあとなあ登録者＝1,000円（1科目）、養成研修修了者＝2,000円（1科目）
6. 聴講人数 10名
7. テキスト ①：『権利擁護と成年後見実践―社会福祉士のための成年後見入門―』 第3版（2019年6月発行）（公社）日本社会福祉士会編、発行：民事法研究会  
②：『後見六法』（2022年度版、2022年6月頃に発刊予定）  
公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート編、発行：民事法研究会  
③：『専門職後見人と身上監護』第3版 著者：上山泰 発行：民事法研究会  
④：『三訂成年後見実務マニュアル』（社）日本社会福祉士会編、発行：中央法規出版  
2022年5月頃に発刊予定  
研修各科目（裏面参照）において、上記各テキストを使用しますので、各自ご準備ください。
8. 申込締切 各研修日の一週間前まで。
9. 申込方法 ホームページの申込フォームよりお申込みください。又は、裏面申込書に所定事項をご記入の上（一社）愛知県社会福祉士会・愛知ぱあとなあセンターまでFAXまたは郵送願います。
10. お問い合わせ先：一般社団法人愛知県社会福祉士会・愛知ぱあとなあセンター 事務局  
TEL：052-202-3155 FAX：052-202-3006  
Eメール：acsw@aichi.email.ne.jp

# 成年後見人材育成研修・聴講申込書

下記の通り、成年後見人材育成研修の聴講の申込みをします。

受講方法	<input type="checkbox"/> 会場受講	<input type="checkbox"/> オンライン受講	配信テスト	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
ふりがな 氏名			ばあとなあ登録（西暦 年） 会員番号	
住所	〒（ ）			
連絡先	電話	FAX		
	Eメールアドレス；			
聴講科目	（ ）科目	1科目＝ 円	聴講費用合計＝ 円	

## 成年後見人材育成研修 聴講課目一覧

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践』（メインテキスト） ②『後見六法』 ③『専門職後見人と身上監護』  
④『成年後見実務マニュアル』 ⑤参考資料集等

出欠	課目	課目の目標	時間(分)	形態	講師	使用テキスト				
						①	②	③	④	⑤
1日目 (390分) 7/30 (土)	1 成年後見制度の解説	1 成年後見制度が成立した背景及び制度の趣旨と理念を理解する。 2 法定後見制度と任意後見制度の概要を理解する。 3 成年後見制度の周辺にある制度を理解する。 4 弁護士や司法書士等の専門職との連携について理解する。	120	講義	成年後見実務に精通した弁護士、司法書士、有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)	○	○	○		○
	2 成年後見活動における判断能力のとらえ方	1 成年後見制度における診断書、鑑定書について理解する。 2 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等を理解するために必要な医学的知識を修得する。	60	講義	医師	○	○			
	3 社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から	1 社会福祉士の専門性を活かした権利擁護の視点を理解する。 2 権利擁護の諸制度や成年後見制度の課題と最新動向を理解する。	180	講義	社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人候補者名簿登録者	○	○	○		○
2日目 (360分) 8/27 (土)	4 財産法の基礎	成年後見制度活用のための財産法の基礎的知識を修得する。	120	講義	成年後見実務に精通した弁護士、司法書士、有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)	○	○			
	5 財産管理のための知識	1 成年後見制度活用のための財産管理の基本的事項を理解する。 2 財産管理に必要な具体的方法に関する知識を修得する。	90	講義	成年後見実務に精通した弁護士、司法書士	○	○		○	○
	6 後見事務の実際1	具体的事例を通して、財産管理の方法を理解する	60	報告解説	報告者：社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人候補者名簿登録者 解説者：課目5担当講師 等	○	○		○	
	7 家庭裁判所の実務の理解	1 家裁における後見担当部局の概要(裁判官、調査官、書記官それぞれの役割)を理解する。 2 家裁における家事審判手続きについて理解する。 3 不正防止への取り組み(監督人の選任、後見支援信託)について理解する。	90	講義	裁判官、家裁職員(元職含む)	○	○			○
3日目 (360分) 9/24 (土)	8 家族法の基礎	1 成年後見制度活用に必要な親族法の基礎知識を修得する。 2 成年後見制度活用に必要な相続法の基礎知識を修得する。	120	講義	成年後見実務に精通した弁護士、有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)	○	○			
	9 身上監護のための知識	1 身上監護とされる項目を修得する。 2 成年後見制度活用上の留意点に配慮できるようになる。 3 権利侵害に対抗できる手続きを理解する。	150	講義	成年後見実務に精通した有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)、社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人候補者名簿登録者	○	○	○	○	○
	10 後見事務の実際2	具体的な活動事例を通して身上監護の方法を理解する	90	報告解説	報告者：社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人候補者名簿登録者 解説者：課目9担当講師 等	○	○	○	○	○
↑	出席される科目に○印を記入してください									